

鹿児島大学病院眼科 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	網膜細動脈瘤に対する治療成績の検討－多施設後ろ向き共同研究
研究責任者氏名	寺崎 寛人
研究機関長名	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 田川 義晃
研究期間	研究実施許可日～2029 年 12 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：網膜細動脈瘤/ 診療科名等：眼科
	受診日：西暦 2011 年 4 月 1 日～2025 年 6 月 30 日
研究に用いる 試料・情報の種類	☐ 試料等 ☒ カルテ情報 ☐ アンケート ☐ その他（ ）
	取得の方法： ☒ 診療の過程で取得 ☐ その他（ ）
研究目的・意義	網膜細動脈瘤（もうまくさいどうみゃくりゅう）は、眼の奥にある網膜の動脈にできる「こぶ」のようなものです。比較的高齢の女性に多く、高血圧や糖尿病などが発症に関わっていると考えられています。多くの場合、自覚症状はありませんが、時に出血したり、血液の成分が漏れ出したりして、視力低下を引き起こすことがあります。 現在、このような状態に対して、レーザー治療や硝子体手術など、様々な治療が行われています。しかし、どの治療法が最も良いかについては、一定の見解は得られていません。そこで、本研究では、過去に網膜細動脈瘤と診断され治療を受けられた患者様の診療記録を調査し、治療法による治療効果の違いを比較検討することで、今後のより良い治療法の選択に役立てることを目的としています。 得られたデータを用いて、各治療群で患者様の背景、画像所見、治療経過について比較検討します。

研究の方法	本研究は、これまでに「網膜細動脈瘤」と診断された患者さんの診療記録をもとに行う、後ろ向きの研究です。研究の対象は、兵庫医科大学、愛知医科大学、東邦大学医療センター佐倉病院、鹿児島大学で、2011 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに網膜細動脈瘤と診断された方となります。 私たちは、2011 年 4 月 11 日から 2025 年 6 月 30 日までの診療録から、視力、眼底画像、OCT（光干渉断層計）画像、造影検査の結果、性別や年齢、自覚症状、既往歴、喫煙歴、身長、体重などの患者さんの背景、そして治療方法などの情報を収集します。データの解析は兵庫医科大学で行います。
外部への試料・情報の提供	兵庫医科大学病院、愛知医科大学、鹿児島大学、東邦大医療センター佐倉病院で得られた情報は、特定の個人を識別出来ないように各施設内で加工を行い、兵庫医科大学で解析を行います。対応表はそれぞれの施設で保管・管理を行います。
研究組織	<代表研究機関> 兵庫医科大学 <共同研究機関> 愛知医科大学 鹿児島大学 東邦大学医療センター佐倉病院
個人情報の取扱い	各施設で集めたデータは、個人が特定されないよう加工したうえで、授受を行います。そのため、安全に管理するために、診療 ID ではなく研究用の ID を割り当てて管理し、診療 ID と研究用 ID の対応表は別に保管いたします。 収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する連絡先	診療科名等： 眼科 担当者氏名： 三原 直久 [電話] 099-275-5402（眼科医局）